Case Study
成功事例

有限会社共立エンジニアリング

笑顔の先に、価値がみえる
OSK

業務の自動化で人的ミスを防ぎ ドキュメント管理の効率化とともに ペーパーレスも実現

SMILE V

1987年9月に創業し、今年35周年を迎える有限会社共立エンジニアリング。測量をメイン事業に、長年にわたる成長を続けてきた

神奈川県横浜市に本社を構える有限会社共立エンジニアリングは、35年の長きにわたり都市ガス関連の測量および調査・設計を行っている。かねてより『SMILE』シリーズを活用していた同社は、『SMILE V』へのバージョンアップを機に、さらなる業務改善に着手し、これまで手作業で行っていた煩雑な業務を自動化して人的ミスを軽減した。さらに、『eValue V ドキュメント管理』導入により、過去資料の検索時間を大幅短縮する効率化を図るとともに大量書類のペーパーレスを実現した。

導入の狙い

- 会計や人事給与の業務効率を高めて人的ミスを軽減
- PDF化した測量図面などの管理・検索をスムーズに

導入システム

- 基幹業務システム
『SMILE V 会計／人事給与』
『SMILE V 人事給与 勤怠管理テンプレート』
- 顧客管理システム
『SMILE V CRM Quick Creator』
- ドキュメント管理システム
『eValue V ドキュメント管理』

導入効果

- 資料のアップロード時間が3分の1に短縮、検索も瞬時に
- 紙資料のペーパーレス化を実現
- 人手による作業を自動化して人的ミスを軽減

USER PROFILE

有限会社共立エンジニアリング

【業種】測量業

【事業内容】測量および調査・設計

【従業員数】13名（2022年6月現在）

㈲共立エンジニアリング

2022年6月取材

測量事業でインフラ整備に継続的に貢献

有限会社共立エンジニアリングは、1987年9月の創業以来、都市ガス関連の測量事業を営む。2022年9月に35周年を迎える測量および調査・設計のスペシャリストだ。作業内容として、工事の影響で公共の基準点や官民境界の境界標などが不明確になることを防ぐために、事前に道路状況の測量調査を実施する。測量作業が完了したら、測定したデータを基にCADソフトで正確な図面を作成し、PDF化して発注元に納品している。

代表取締役 会長の小鮒 龍二氏は、「生活必需品であるインフラ工事は、景気の変動にあまり左右されないことが大きな強みです。長年の実績と技術力が評価され、常に定期的に仕事の依頼があるため、創業以来、安定した成長を続けています」と語る。

コロナ禍でも、ほかの業界に比べて影響は比較的少なかったという。それでも、感染防止の観点から、従業員にはノートPCを配布して自宅で仕事ができるリモートワーク環境を整備するなど、柔軟な働き方に対応している。また、業界内の人材不足を解消するために、測量未経験者も積極的に採用し、会社で費用を負担して資格取得を促進する取り組みも行っている。

さらに、IT活用による業務改善も積極的に推進している。これまで手書きで行っていた伝票処理をいち早くシステム化するなど、事業規模の拡大に伴い発生している業務上の課題解決に継続的に取り組んでいる。

新システムへの移行を機に従来の課題を一気に解消

もともと同社では、入金伝票や出金伝票、振替伝票などは手書きで作成し、税理士に依頼して会計処理を行っていた。

測量業務は3名チームで行う。国家資格支援制度を整備しており、異業種からの転職も積極的に行っている

しかし、手書きによる伝票作成は時間と手間がかかり、計算間違いなどの人的ミスが生じるリスクも高まる。そこで、2013年からリコージャパンの提案を受けてSMILEシリーズを導入している。会計業務のシステム化を図るべく導入したのが『SMILE BS 2nd Edition 会計』だ。操作がシンプルで使い勝手がよいことから、『SMILE BS 2nd Edition人事給与』も追加導入。この2製品は、同社の基幹業務システムとして長年活用している。

その後、同システムを新たな機能が実装された『SMILE Vシリーズ』にバージョンアップし、さらなる業務改善に着手。その際の重要な課題の一つは、紙ベースで行っていた勤怠管理の効率化だった。

「当時は、従業員がタイムカードに打刻したデータを手計算で集計して台帳記帳した後に、人事給与システムに入力して給与計算を行っていました。ところが、従業員の人数が増えるにつれて、タイムカードの集計作業やチェック作業に多くの時間と労力

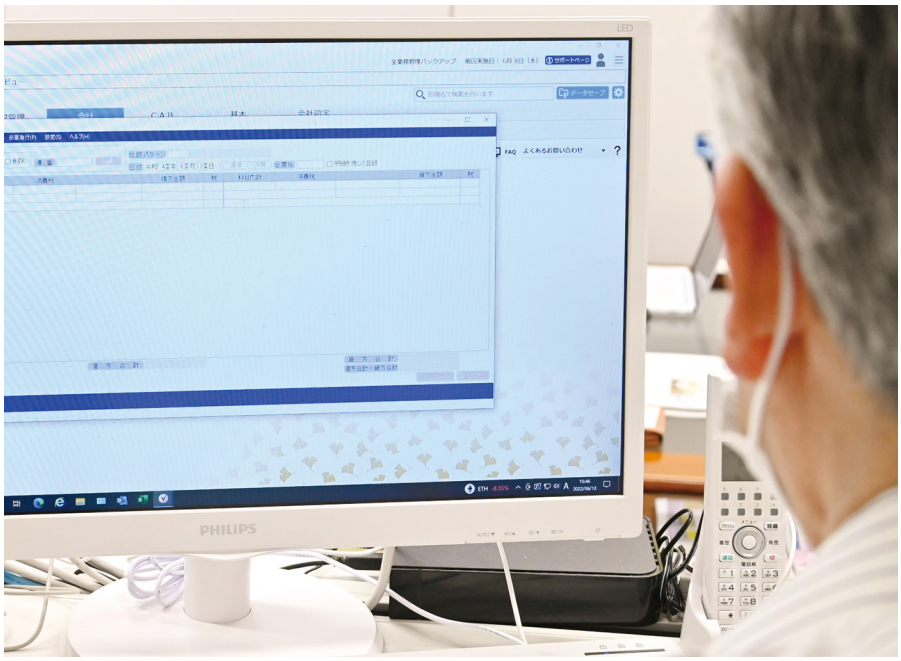
代表取締役 会長
小鮒 龍二氏

「新しいものが好きなので、これは役に立つと思えばすぐに取り入れます。今回導入したシステムは、まさに業務改善に役立つ最適な仕組みでした。今後もOSKさんにはDXを継続的にサポートしていただきたいです」

を費やすことになってしまいました。勤怠管理は給与の金額に直接関わってくるので、計算ミスは許されません。そのため、タイムカードの集計を自動化できる仕組みが必須でした」(小鮒氏)

もう一つの重要な課題は、過去の測量図面や測量写真、工事資料といった膨大な数の紙資料の管理が煩雑になっていたことだ。「以前は、紙の図面や資料は棚やロッカーに保管していました。取引先から過去の工事案件の写真を見たいと言われることがあるため、過去5年間の資料は全て保管していたのです。しかし、どこに何の資料があるのかをしっかりと管理していくのはなかなか難しく、必要な書類を探し出すまでに多くの時間を費やしていました」(小鮒氏)

そこで、紙の図面を複合機でスキャニングして電子保管するシステムを導入したものの、当時利用していたドキュメント管理ソフトは、検索機能がないことから使い勝手が悪く、資料のアップロードにも非常に時間がかかっていたという。そのため、検索機能が充実している使い勝手のよいシステムへの入れ替えを検討していた。



手書き伝票で行っていた会計処理が自動化され、大幅な業務効率の向上に結び付いている

手作業で行っていた業務を自動化して人的ミスを軽減

基幹業務システムを『SMILE Vシリーズ』にバージョンアップしようと考えたときに、従来の課題をリコージャパンに相談した。そこで、勤怠管理の効率化を図る最適な仕組みとして提案されたのが、『SMILE V 人事給与 勤怠管理テンプレート』だ。『SMILE V 人事給与』とシームレスに連動し、ICカードを利用することで、勤怠情報の自動集計と人的ミスの削減を図れることは大きな導入メリットだった。

全従業員に配布したICカードを、オフィスの入り口に設置したタイムレコーダーにタッチすることで、出社時間や退社時間を登録。勤怠データは毎月自動的に『SMILE V人事給与』に取り込まれ、タイムカードの集計作業やチェック作業の手間が省けて給与計算のミスが生じる心配はなくなった。

また、懸念であった紙書類の管理については、『eValue Vドキュメント管理』を導入することで従来の課題を一気に解消している。必要な資料を検索する手間は格段に楽になり、資料のアップロードに要する時間もこれまでの約3分の1と大幅に短縮された。

さらに、業務効率を高めるための新たなシステムとして『SMILE V CRM Quick Creator』を導入し、これまで紙で管理していた作業日報と受注台帳のデジタル化を実現した。

「以前は、従業員が日付や作業内容などを手書きで記入した書類を基に、受注台帳を作成して管理していました。しかし、手作業で行うと、どうしても請求漏れなどのリスクが生じる場合があるため、取引先からも台帳管理の精度向上が求められていました。リコージャパンの担当者に対処方法を相談したところ、Quick Creatorを使ってオリジナルの受注台帳を作成してくれました。作業日報を入力すると自動的に受注台帳が作成される仕組みです。おかげで請求漏れのリスクが大幅に軽減されました」(小鮒氏)

業務スピードが格段にアップしドキュメント管理の効率化も実現

今回のシステム導入に伴い、サーバーも刷新したため処理速度が格段にアップしている。それも含め、以前よりも業務効率の向上を実感している。なお、機密文書等は独立したサーバーで管理し、小鮒氏しかアクセスできないようにしている。これにより、社内の機密情報が外部に漏洩するリスクは減少し、セキュリティ面は大幅に強化された。さらに、小鮒氏が高く評価しているのが、充実したOSKのサポート体制だという。

「OSKさんは、何か分からないことあっても、サポートセンターに電話をかけて質問をすれば、具体的な操作方法を丁寧に教

えてくれる安心感があります。特に、年末調整のように、年に数回しか使用しない機能は操作方法を忘れてしまうことが多いので、大変助かっています。おかげで、スムーズに運用できています」(小鮒氏)

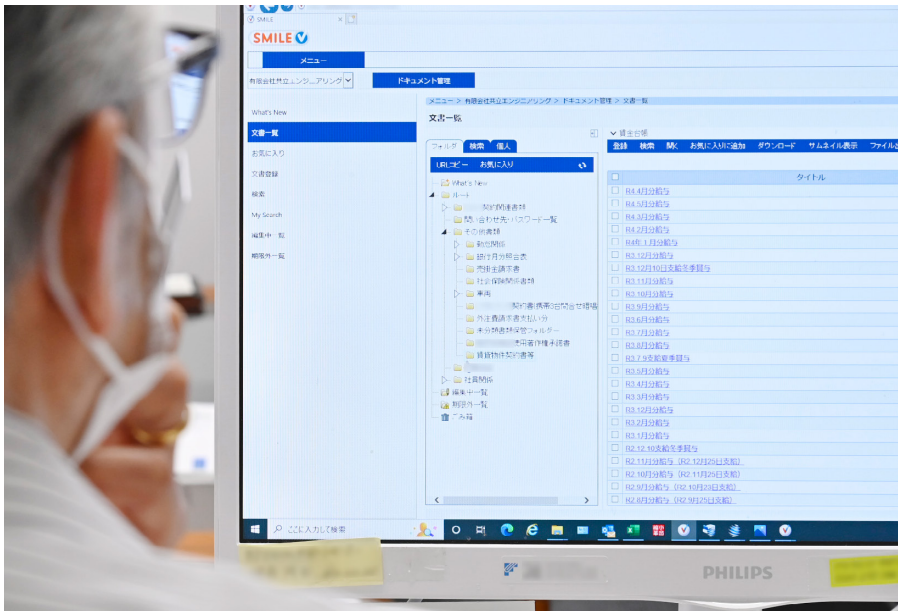
『eValue V ドキュメント管理』の導入効果も非常に大きい。従業員からも検索機能が充実しているので、とても使いやすくなったと大変好評だという。

「検索したいときは、工事番号、住所、日付を入力すると、該当する資料が瞬時に表示されます。これは過去資料の確認にとても重宝しています。当社では、工事案件ごとにPDF化した測量図面や工事写真、作業日報などの5～10の文書を一度にまとめて保管していて、それらのサイズは、全体で10～15MBになります。かつては、それらをアップロードするだけで15分くらいかかっていたのですが、現在は5分もかからずに完了します」(小鮒氏)

同時に、ペーパーレス化にも大きく貢献している。現在は資料のデジタル化を徹底し、紙資料の保管は一切行っていない。そのため、以前のように棚やロッカーが資料で埋め尽くされる心配がなくなり、省スペース化も実現している。

「どんなに注意を払っても、人的ミスは起こり得ます。そのため、当社では、測量図面を納品する際には、必ずほかのスタッフによる二重チェックを周知徹底しています。けれども、今回導入したシステムのように、人手による作業を自動化することによって、人的ミスを最小限に抑えることができるのであれば、そのメリットは極めて大きいです」(小鮒氏)

今後も、デジタル技術を活用することで業務改革を実現するDX化に継続的に取り組み、企業競争力をより一層高めていく考えだ。



『eValue V ドキュメント管理』により、膨大な文書を一元管理。検索機能により、過去資料も瞬時に確認ができるようになったほか、ペーパーレス化にも寄与している

有限会社共立エンジニアリングのホームページ
https://www.kyoritu-eing.co.jp

お問い合わせ

・会社名、製品名などは、各社または各団体の商標もしくは登録商標です。
・事例中に記載の肩書きや数値、固有名詞等は取材当時のものであり、配付される時点では、変更されている可能性があることをご了承ください。
・この記載内容は2022年8月現在のものです。
Copyright©2022 OSK Co., LTD. All Rights Reserved.

株式会社OSK
マーケティング本部
〒130-0013　東京都墨田区錦糸1-2-1
TEL:03-5610-1651　FAX:03-5610-1692
https://www.kk-osk.co.jp/